

## 令和4年度第2回 協力病院連絡会議(報告)

日時:令和5年1月24日(火)  
16:00-17:30 Zoom 会議

出席者:清水卒後臨床研修センター長  
森医学教育部門長  
上條臨床研修部門長  
参加者:教育協力病院および臨床研修関連の35病院

森医学教育部門長が進行を担当した。



### 1. 新型コロナウイルス感染症に係る臨床実習における対応について

前回の会議以降、臨床実習ガイドラインの変更はしていない。コロナの状況として、学生の陽性も先週から減ってきている印象がある。特別な対応として、陽性者は10日間、濃厚接触者は7日間の待機と長めに設定している旨説明があった。

### 2. 令和4年度「150通りの選択肢からなる参加型臨床実習」受入と実績・・・資料No.1

資料に基づき、要望全てに配属はできていないが、多くの病院に多くの学生を配属するように設定している旨説明があった。来年度の実習先について、春頃に相談させていただき予定との説明があった。

### 3. クリニカルクラークシップⅡにおける担当症例数について・・・資料No.2

資料に基づき、第4タームまでの症例数を示したもので、コロナの影響を受けている印象である。協力病院については12月に外来の経験が増えてきている旨説明があった。併せて、今年度改定されたコアカリでも、外来の担当数が重視されているので、学生に経験させていただきたい旨依頼があった。

### 4. 150通り実習 第1-第3タームの学生の感想について・・・資料No.3

資料に基づき説明があった。近年は学生の要望を記載する項目を設定している。やってみたかったこと、勉強したかったことについて、資料を確認いただき、なるべく経験させてもらいたいと依頼があった。

本会議に引き続き卒後臨床研修管理委員会を開催した後、参加した全病院からコメントをいただいた。挙げられた意見要望は以下の通り。

- ・ 学生の感想について、病院としても良い意見は伸ばしていきたいし、良くない意見も改善していきたいので、いろいろな面で意見を挙げてもらいたい。
- ・ 150通り実習で指導していて、非常に優秀な印象を受けている。
- ・ 熱意がある学生がいる一方、少し距離を置いて接した方が良いと感じる学生がいる。どのくらいの接し方がよいかご教示いただきたい。(森医学教育部門長より、メンタルが弱い学生については事前に伝えるようにしているので、熱めの接し方で良いかと思う。熱意が感じられないと思う学生の中にも特定の分野に興味を示す学生がいるので、拾い上げていただけると有難い、と回答)
- ・ 150通りで派遣してもらって、病院に活気が出て良いと感じている。
- ・ 病院内でもコロナの集団感染が起こってしまい、迷惑をかけてしまったが、そのような中でもできることをやってもらい切り抜けることができた。
- ・ みんな優秀な学生で有難い。逆に病院側も刺激を与えてもらっている。
- ・ 病院を挙げて実習受入の体制をとっている。学生実習から始まり、臨床研修等に繋がっていくので、引き続き派遣をお願いしたい。
- ・ たくさんの患者さんと接してもらったり、訪問診療なども経験してもらって、学生からよかったと言ってもらえている。
- ・ コロナで病棟に入れなかった時期があったが、その他は通常の実習ができていて良かったと思っている。
- ・ コロナ禍だが何とか対応できたと思う。実習に来てもらって、一般訪問とかいろいろ見てもらいたいと思っている。
- ・ 実習の最後にはまとめとしてプレゼンをしてもらっている。とても優秀でよく勉強していると感じる。

- ・ 教えることに対する労力がかかることもあるが、若い先生がいてくれると病院としても活性化するので、今後も力を入れていきたい。
- ・ 地域医療が中心だが、熱心な学生が多く、在宅等を見てもらった際は勉強になったと言ってもらえる。また、学会形式で最終日に発表をしてもらおうがとてもよくまとめている。今後も派遣してもらいたい。
- ・ 実習生は積極的で感心している。
- ・ 実習生に対し感心していると同時に元気ももらっている。学生に対しリスペクトをし、どんどん体験してもらい、フィードバックしてもらっている。物足りないと感じていた学生もいたようなので、要望に合ったプログラムをしていくつもり。益々充実したものにしていきたい。

清水卒後臨床研修センター長の閉会の挨拶を以って閉会した。

以上